

正信偈・文類偈・三誓偈・嘆佛偈・改悔文・御旨

念佛和讃・御文章・十四行偈・帖外和讃・阿弥陀經

平假名附
在家勤行集全

月窓書院藏梓

歸命无量壽如來

南无不可思議光

法藏菩薩回位時

在二世自在王佛所



法華經・文殊師利・三寶偈・雙佛偈・改悔文・御誓

金剛經・神咒經・十善行偈・帖外和讚・阿彌陀經

在家勤行集全

月窓書院藏梓

歸命无量壽如來

南无不可思議光

法藏菩薩回位時

在二世自在王佛所



觀見諸佛淨土因
國土人天之善惡
建立无上殊勝願
超發希有大弘誓

五劫思惟之攝受

重誓名聲聞十方

普放无量无边光

无碍无對光炎王

ムゲ コアラ ムロイ コラウ エツ コラウ

清淨歡喜智慧光
不斷難思無稱光
超日月光照塵刹
一切羣生蒙光照

本願名號正定業
至心信樂願為因
成等覺證大涅槃
必至滅度願成就

如來所以興出世

唯說彌陀本願海

五濁惡時羣生海

應信如來如實言

能發一念喜愛心

不斷煩惱得涅槃

凡聖逆謗齊迴入

如衆水入海一味

モロクノミツノウヂニイリテイキミナルガコト

ホニフシヤウニシガキヤクホウバクモヒトシクエニフスレハ

ホニホウラダンゼズシテチハシラウルナリ

ヨクイチ子ンキアイノシラオヨスレハ

ヨクイチ子ンキアイノシラオヨスレハ

ヨクイチ子ンキアイノシラオヨスレハ

ヨクイチ子ンキアイノシラオヨスレハ

ヨクイチ子ンキアイノシラオヨスレハ

ヨクイチ子ンキアイノシラオヨスレハ

ヨクイチ子ンキアイノシラオヨスレハ

ヨクイチ子ンキアイノシラオヨスレハ

ヨクイチ子ンキアイノシラオヨスレハ

ヨクイチ子ンキアイノシラオヨスレハ

ヨクイチ子ンキアイノシラオヨスレハ

ヨクイチ子ンキアイノシラオヨスレハ

ヨクイチ子ンキアイノシラオヨスレハ

ヨクイチ子ンキアイノシラオヨスレハ

ヨクイチ子ンキアイノシラオヨスレハ

ヨクイチ子ンキアイノシラオヨスレハ

ヨクイチ子ンキアイノシラオヨスレハ

ヨクイチ子ンキアイノシラオヨスレハ

ヨクイチ子ンキアイノシラオヨスレハ

攝取心光常照護

已能雖破无明闇

貪愛瞋憎之雲霧

常覆真實信心天

譬如下日光覆雲霧

雲霧之下明无闇

獲信見敬大慶喜

即横超截五惡趣

一切善惡凡夫入

聞信如來弘誓願

佛言廣大勝解者

是人名分隨利華

彌陀佛本願念佛

邪見憍慢惡衆生

信樂受持甚以難

難中之難无遇斯

カニキコトコロニスキタルハナシ



印度インド西天さいてん之の論家ろんが

中夏ちゅうか日域にっく之高僧こうそう

顯大聖興世正意けんたいせいこうせしやうい

明如來本誓應機めいにょらいほんせいおうき

釋迦如來楞伽山しやくたにょらいりやうがせん

為衆告命南天竺わしゆしゆあうめいなんてんぢく

龍樹大士出於世りゆうじゆだいししゆたうせ

悉能摧破有無見しつねいさいぱくうむけん

ニョライノホシセイノキニオウズルコトヲアハル

宣イシヤク說ワカ大オホ乘ノリ无ム上ノ法ホウ

證シ歡クワン喜キ地チ生シヨウ安アン樂ラク

顯エン示シ難ナン行ギョウ陸リク路ロ苦ク

信シン樂ラク易イ行ギョウ水スイ道ダウ樂ラク

憶オク念ネン弥ミ陀タ佛ブツ本ホン願ガン

自ジ然ゼン即ソク時ジ入ニ必キヤク定ヂョウ

唯タラシク能ク常ニ稱ス如ニ來リ號トシテ

應オウ報ホウ大オホ悲ヒ弘クワ誓セキ恩オン

ダイヒゴゼイノフシラホウスヘントイヘリ

天親菩薩造論說

歸命无身光如來

依修多羅頭真實

光闍維超大大誓願

廣由本願力廻向

為度羣生彰一心

歸入功德大寶海

必獲入大會眾數

得_レ至_ニ蓮_華藏_三世_界

即_ニ證_ニ真_如法_性身

遊_二煩_惱林_一現_ニ神_通

入_ニ生_死菌_一示_ニ應_化

本_師曇_鸞梁_天子

常_向鸞_處菩_薩禮

三_藏流_支授_ニ淨_教

焚_燒仙_經歸_樂邦

セシキヤウヲヤキテゴクヲクニキニタマヒキ

天親菩薩論註解

報土因果顯誓願

往還廻向由他力

正定之因唯信心

惑染凡夫信心發

證知生死即涅槃

必至无量光明土

諸有衆生皆普化

道ミチ 綽シヤク 洩シヤク 聖シヤク 道ミチ 難ナン 證シヤク

唯ユヘ 明メイ 淨ジヤウ 土ツ 可カ 通ツウ 入ニ

萬マン 善ゼン 自ジ 力リキ 賤ゼン 勤ジン 修シウ

圓エン 滿マン 德トク 號ガウ 勸ケン 專セン 稱シヤウ

三サン 不フ 三サン 信シン 誨エイ 慇イン 懃シン

像ゾウ 未マイ 法ホフ 滅メツ 同ドウ 悲ヒ 引イン

一イチ 生シヤウ 造ゾウ 惡アク 值チ 弘クワ 漸ゼン

至シ 安アン 養ヤウ 界カイ 證シヤク 妙ミョウ 果クワ

至安養界證妙果

善導濁明佛正意

矜哀定散与逆惡

光明名號頭回縁

開入本願大智海

行者正受金剛心

慶喜一念相應後

与韋提等獲三忍

卽證法性之常樂

スチハチホツシトクノドククヲサトシムトイカ

源信廣開一代教
徧歸安養勸一切
專雜執心判淺深
報化二土正辨立

極重惡人唯稱佛
我亦在彼攝取中
煩惱影眼雖不見
大悲无倦常照我

本師源空明佛敎

憐愍善惡凡夫人

真宗教證興片州

選擇本願弘惡世

還來生死輪轉家

淩以疑情為所止

速入寂靜無為樂

必以信心為能入

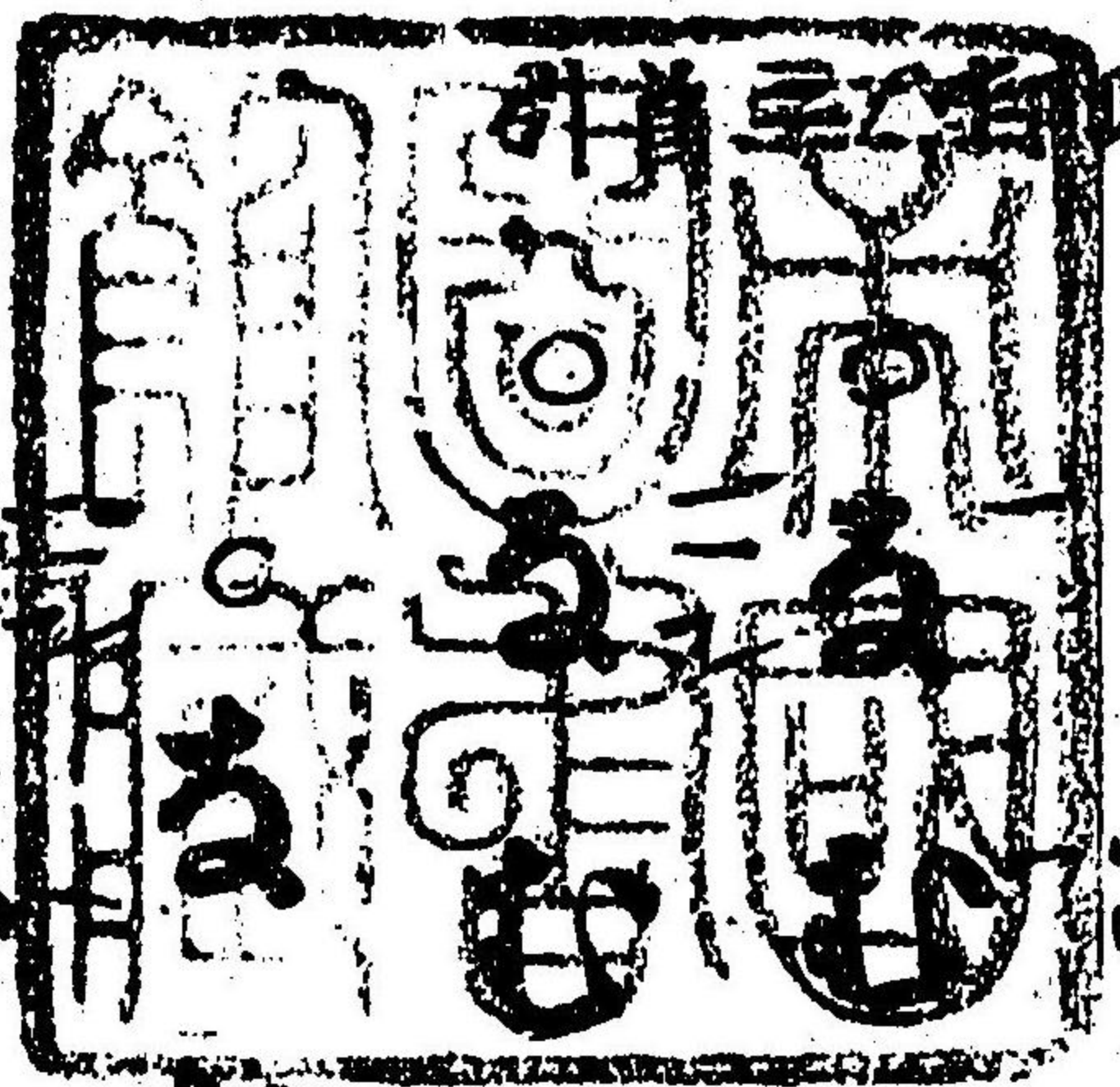
カチラガニニ...

弘經大士宗師等

極濟无边極濁惡

道俗時衆共同心

唯可信斯高僧說



○ 初重

むあま

弘

あま

弘

あま

弘

あま

弘

あま

弘

あま

弘

一 弥 随 成 佛 の こ の 光

いまふ十劫と入なま

法身の光輪

世の盲具

まむあ

まむあ

まむあ

まむあ

まむあ

智ち慧えの光明くわうめいをうりかへ

有量いうりやうの諸相しよさうをくぐく

光くわう曉きやうのやうにわらわのやう

上うへ眞實明しんじつめいに歸命きめいせよ

。 ちむあゝとん
。 ちむあゝとん

。 ちむあゝとん
。 ちむあゝとん

。 ちむあゝとん
。 ちむあゝとん

〃 支^一 比^一 亦^二 三^一 与^三
 〃 支^二 比^一 亦^二 三^一 与^三
 〃 支^之 比^一 亦^二 三^一 与^三
 〃 支^三 比^一 亦^二 三^一 与^三

解脱の光輪（解脱の光輪）

入^レ 光^ノ 觸^ル 光^ノ 觸^ル 光^ノ 觸^ル 光^ノ 觸^ル

有^レ 无^レ 有^レ 无^レ 有^レ 无^レ 有^レ 无^レ 有^レ 无^レ

上 平等覺の歸命（平等覺の歸命）

まひがとよ
まひがとよ
まひがとよ
まひがとよ
まひが

光雲无碍如虚空

一切の有身皆空なり

光澤かみらぬものもあま

上難思議と歸命せよ

。まゝ
むあゑ
ん

。まゝ
むあゑ
ん

。まゝ
むあゑ
ん

。まゝ
むあゑ
ん

。まゝ
むあゑ
ん

。まゝ
むあゑ
ん

三重

。まゝ
むあゑ
ん

。まゝ
むあゑ
ん

。まゝ
むあゑ
ん

清淨光明かまびさし

遇斯光のゆまかきとを

一切の業繫ものぞころぬ

畢竟依と歸命せよ

まむわととぬ

まむあととぬ

まむあととぬ

まむあととぬ

まむあととぬ

佛光照曜寂第一

光炎王佛

三塗の黒闇ひく多

中大應供と歸命

願以此功德

平等施一切

同發菩提心

往生安樂國

道光明朗超絶せり

清淨光佛とまじりまじり

ひとたび光照せしむりの

中業垢とのぞき解脱せり

慈光をうふめむしりめ

ひらのるるるるるる

法喜とてとてのべたまふ

中大安慰と歸命せよ

無明むみやうの闇くらみと破やぶとるゆ

智慧ちゐ光くわう佛ぶつとたうけり

一切いっせつ諸しよ佛ぶつ三さん乘じやう衆しゆ

上うへととふ嘆なげ譽ほめたまふ

光明くわうめいてふとてたふれを

不斷ふたんに光くわう佛ぶつとたうけり

聞きこ光くわう力りきのゆへあまを

上うへ心こころ不ふ斷たんにふて往い生じやうと

佛光測量なきゆへに

難思光佛をあらげり

諸佛へ往生嘆トク

下跡隨の功德と稱せむ

神光の離相と稱せむ

无稱光佛とあらひり

日光成佛のひろくを

中諸佛の嘆とあらむ

光明月日不勝過くわうめいげつにちふしやうとく

超日月光てうにちげつとならけり

釋迦嘆しやくたとてたゞとて

上かみ无等むとう等とうと歸命きめいせよ

弥陀初會みたそくごの聖衆せいしゆハ

筭數さんすうのおよぶこととを

淨土じゆつどと稱たがひぶらん

下した廣大會くわうたいごと歸命きめいせよ

えりくひまきり だんがら

安樂無量の大菩薩

一生補處ふけるなり

普賢の徳ふ歸してこそ

中 穢國ふちやうに化するなり

十方衆生のたぢふとて

如來の法藏あるちてを

本願弘誓に歸せしむる

中 大心海と歸命せよ

觀音勢至りうとまふ

慈光世界と照曜

有縁と度とまふ

休息あるとかなりけり

安樂淨土にらるひと

五濁惡世ふあつて

釋迦牟尼佛のごとて

下利益衆生いふもなり

神力自在あり

測量とく

不思議の徳あり

上无上尊と歸命

安樂聲聞菩薩衆

人天智慧ありかに

身相莊嚴とあり

中他方に順きて名とあり

顔容端政たぐひか

精微く妙く軀く非人みん天てん

虚无こゝろ之の身み无極むじく體たい

上平等力じやうびやうりきと歸命きめいせよ

安樂國あんらくこくと稱なづふひと

正定しやうてい聚あはれる住すまるををるる

邪定じやてい不定ふてい聚あはれるををるる

上諸佛じやうしよふつ讚嘆さんたんしたまふ

十方諸有の衆生ハ

阿弥随至徳の御名ニ

眞實信心ニ

上おろそふ所聞と慶喜せん

若不生者のちるひ

信樂

念慶喜

申往生の

五安樂佛土の依正ハ

法藏願力のなせるあり

天と天下にさぐひかり

中大心力と歸命せよ

安樂國土の莊嚴ハ

釋迦无碍のまゝ

上無稱佛と歸命せよ

上無稱佛と歸命せよ

已今當の往生ハ

この土の衆生のまぎび

十方佛土のまぎび

上无量无数不可計の

阿弥陀佛の御名とまぎ

歡喜讚仰せしむまぎ

功德の寶と具足して

下一念大利无上なるを

たるとひ大千世界に

みそくせん火ともすばゆきそ

佛の御名とくくくひとい

上かまぐ不退にのあめり

神力无極の阿弥陀ハ

无量の諸佛やあたまふ

東方恒沙の佛國より

中 无数の菩薩ゆきたまふ

たるとひ大千世界に

みてもん火とすすはゆと

佛の御名とすくひとい

上かまぐ不退にのみあり

神力无極の阿弥陀ハ

无量の諸佛やめたまふ

東方恒沙の佛國より

中 无数の菩薩ゆきたまふ

○ 五十六億七千萬

御初夜

彌勒菩薩

まことの信心

このまこと

念佛往生の願

等正覺

あまのつら

大般涅槃

眞實信心の源ゆゑに

すなわち定聚の入門

補處の弥勒をおぼえて

无上覺をとりよる

像法のとまれ智人も

自力の諸教としも

時機相應の法なれば

念佛門をとりたまふ

弥陀の尊勝とたぐつ

信樂よみおるひと

憶念の心つよき

佛恩報さるおのり

五濁悪世の有情の

選釋本願信おれ

不可稱不可説不可思議の

功德ハ行者の身おとる

釋尊

○ 本師龍樹菩薩

智度十住毘婆沙等

法うそれやく西とほめ

念解

南天竺小比丘

龍樹菩薩とるづく

有無の邪見と破

世尊

本師龍樹菩薩

大乘无上の法とくま

観喜地と證して

念佛とくま

龍樹大士世ふいで

難行易行の道ね

流轉輪廻の

弘誓のよみおの勢たま

本師龍樹菩薩の

おしとほくせんんと

本願心ふるまへて

ほのお弥陀と稱さる

不退のうゝあすなやう

きんとおもはんひとみ

恭敬の心お執持して

弥陀の名號稱さる

中日御

○南無阿彌陀佛の廻向の

思徳廣大不思議

往相廻向の利益ふい

選相廻向ふ廻入せり

往相廻向の大慈より

選相廻向の大悲より

如來の廻向かよりせむ

淨土の書提はいません

彌陀觀音大勢至

大願のふゆ乗どぞ

生死のうらふくしん

有情としやうてのさたまふ

彌陀大悲の誓願と

ふく信せんひとのみ

結ぶもさめてもへんてなく

南無阿彌陀佛となす

他力の信心うしひと

ふかしのまゝおよろこぶ

たからちが親友を

教主世尊はめたま

如來大悲の恩徳ハ

身と粉も報

師主知識の恩徳も

かみふんいよと謝

改悔文

の悔くの難^{たがひ}難^{たがひ}終^つ自力の心^{こころ}

うりまてこの殊^{おと}泡^う如^{ごと}来^きりまてうら

今^{こん}度の一大^{いちだつ}事^じれ^れ後^ご生^{せい}活^{かつ}たきけ

候^{こう}へとたの^のま^まゆ^ゆく^くん^んたの^の心^{こころ}念^{ねん}

の^のま^まは^は生^{せい}一^{いつ}足^{あし}活^{かつ}助^{すけ}け^け活^{かつ}息^{いき}と

ぞん^{ぞん}ど^どこ^この^のう^うく^く乃^の殊^と名^なく^く活^{かつ}活^{かつ}息^{いき}

報^{ほう}謝^{しゃ}とぞん^{ぞん}ど^どよ^よ活^{かつ}活^{かつ}息^{いき}の中^{なか}作^{さく}

け^け活^{かつ}活^{かつ}息^{いき}とら^らの^の種^{しゆ}々^さ中^{ちゆう}伏^{ふく}々^さ

活^{かつ}活^{かつ}息^{いき}とら^らの^の種^{しゆ}々^さ中^{ちゆう}伏^{ふく}々^さ活^{かつ}活^{かつ}息^{いき}とら^らの^の種^{しゆ}々^さ中^{ちゆう}伏^{ふく}々^さ

身相義の旨知識の法あきうらむる

淨妙化の淨ごらんけ是ごせんありあまぐくそんぶん

けうくきの定めあうせち得えんく淨えん推

一い切きをかきさうりきまのりきまうきあ

まぐく作

太子七高僧御忌日

聖徳太子 推古天皇廿九年辛巳二月廿二日崩御 御壽四十九弘化元年辰追二千二百二十九年

龍樹菩薩 十月十日 天親菩薩 三月三日

曇鸞大師 七月七日 道綽禪師 四月廿七日

善導大師 三月廿七日 源信和尚 六月十日

圓光大師 長兼二癸丑年四月七日御誕生建曆甲午正月廿音御往生御壽八十年延治十三年

本願寺御相兼御代御忌日

親鸞聖人 高倉院御宇兼安三癸巳年御降誕

龜山院御宇弘長三壬戌十一月廿八日淨土御遷歸
御壽滿九十弘化元甲辰年迄五百八十三年迄

如信大 正安二庚子年正月四日 逝六十二
大納言 弘化元甲辰年迄 五百四十五年

覺如大 觀應元庚寅年正月十九日 逝八十二
權大僧都中納言 四百八十五年

善如大 康應元己巳年二月廿九日 逝五十七
權大僧都大納言 四百四十九年

綽如大 明德四癸酉年四月廿四日 逝四十四
權大僧都 四百四十四年

巧如大 永享二庚申年十月十四日 逝六十五
權大僧都 三百九十九年

存如大 長祿元丁丑年六月十八日 逝六十二
權大僧都中納言 三百七十二年

運如大 明應八己未年三月廿五日 逝八十五
權大僧都中納言 三百四十八年

實如大 大永五己酉年二月二日 逝六十八
權大僧都大納言 三百三十二年

證如大 天文九三甲寅年八月十三日 逝三十九
權僧正 三百一十一年

顯如夫

文祿元年壬辰年十月廿四日
大僧正

逝五十三
二百五十三

准如夫

寬永七年庚午年十一月廿日
大僧正

逝五十四
二百五十八

良如夫

寬文二年寅年九月七日
大僧正

逝五十二
二百八十三

寂如夫

享保十一年巳年七月八日
大僧正

逝七十五
百十九

住如夫

元文四年巳未年八月六日
大僧正

逝六十七
百六

湛如夫

寬保元年辛酉年六月八日
大僧正

逝三十七
百四

法如夫

寬政元年巳酉年十月廿四日
大僧正

逝七十六
五十六

文如夫

寬政十一年巳未年六月十四日
大僧正

逝五十五
五十五年

本如夫

文政九年戌年十二月廿日
大僧正

逝十九
十九年

東

教如夫

慶長十九年甲寅年十月五日
大僧正

逝五十七
二百三十一

宣如夫

万治元年戊戌年七月廿五日
大僧正

逝五十五
百八十九

環如夫 常如夫 一如夫 真如夫 從如夫 來如夫

寛文十一年辛亥年四月十日 大僧正 逝四十七 百七十六年

元禄七年甲戌年五月九日 大僧正 逝五十四 百五十二年

元禄十三年庚辰年四月十日 大僧正 逝五十二 百四十六年

延享元年甲子年十月二日 大僧正 逝六十三 百一十一年

宝曆十年庚辰年七月十日 大僧正 逝四十一 八十五年

寛政四年壬子年二月九日 大僧正 逝四十九 五十二年

作当流の他カ修人のものじきを
よく聴ゆ^{きこ}て^し波^{なみ}を^なせしむる人
あまほ^{あま}の^ほその^の信^{しん}の^のと^とり
りて心^{こころ}危^{あや}ふ^ふ抄^{しり}を^を受^うく^くて^て他家^{たけ}
他人^{たにん}又^{また}對^{たい}して^{して}法^{はふ}を^を傳^{でん}へ^へる^るま^ま
函^{はつ}次^じ大道^{だうだう}を^をま^まく^くの^のま^まある^{ある}と

まへにあらん人よむさへら
らにむかひてんてんてんてん
はむしよちち後地はまてひまて
まへにあらん人よむさへら
殊累の傍らくらくらくと
ゆくとくく又諸神はは善薩

まへにあらん人よむさへら
みる南无阿弥陀仏のあまはら
ちんこのまがゆりぬりむよちち
まはとりのくおのてと一ひんち
他方のぼんどうくたくりく世
間の仁義をめてかちちくく

きんからあはれをいひまはるの
あはれをいひまはるる
しるべのあはれをいひまはる

文昭和二年二月十七日書

○折毎月あはれのあはれをいひまはるの由来

ちよのたれをいひまはるる地
のしよをいひまはるる自身のははれ
乃にん獲得のしよをいひまはるる
ちよをいひまはるるしよをいひまはるる
ちよをいひまはるるしよをいひまはるる
ちよをいひまはるるしよをいひまはるる

信人の海はとてうらひの
まよ—たるよき年らびに
奇念のとたの酒飯業なんどは
うらひなくみましく正教の
を佛法のちきとみらまらるから
ごまは身なりからまは不徒乃

面く一匹の不震むもたて
んのみ光と沙はまらるる
ちあいの玉種もれく正教の
業まらるるからに世をえん
よしく思業とあらうら
ことなり正教自今以後

てふ本佐の面くつらひくづひよ
信心の響嘆あるくまの軒舞
形り

○そまの流のあらのよのよと
つらあひくづひくづひの飛藤
乃ぬきまよふくまの海

難のあつと中えと一心り
阿弥如来小福命して今々の
ちのうの後生たよけぬとぬ
かくたのまん流まよひあひく
あまけあまのくまのくまの
あまのくまのくまのくまの

ゆるり人々まゝに百印百生
あるくまぬりけうくらの毎月の
寄合とりてても報謝徳の
を免とくちえらぬいぢきとそ
美実の位心と具とせりめり
約者ともちぢくいものぬら

あるかしく

明治七年二月廿六日書之

毎月あな及簿宛中人

八十四歳

○東代元智のま最止後の男女

○^{五ノ}吏^ノ主^ノ家^ノの^母死^ノ女^ノ身^ノた^ノん^ノ欣^ノち
な^ノみ^ノの^母ち^ノも^ノ形^ノく^ノ一^ノ心^ノ一^ノ向^ノよ^ノ海^ノ跡
陀^ノ仏^ノと^ノあ^ノく^ノた^ノの^母ま^ノの^母つ^ノら^ノせ^ノて
後^ノま^ノを^ノい^ノて^ノい^ノま^ノく^ノま^ノま^ノい^ノん
人^ノま^ノを^ノい^ノて^ノ清^ノき^ノま^ノい^ノち^ノあ^ノる
一^ノし^ノお^ノの^ノく^ノら^ノく^ノら^ノに^ノ難^ノ

た^ノの^母い^ノん^ノち^ノあ^ノめ^ノく^ノあ^ノめ^ノく^ノら^ノん
い^ノま^ノの^母い^ノん^ノち^ノら^ノ陀^ノ如^ノ來^ノの^母所^ノち
う^ノの^母他^ノ力^ノ本^ノ願^ノと^ノら^ノち^ノを^ノあ^ノり^ノけ
う^ノく^ノま^ノの^母あ^ノら^ノ後^ノま^ノの^母た^ノま^ノか^ノら^ノん
い^ノの^母う^ノま^ノい^ノは^ノら^ノあ^ノい^ノん^ノん
あ^ノの^母う^ノた^ノぐ^ノ南^ノ无^ノ河^ノ跡^ノ陀^ノ仏^ノく

と 賢く (あまの) の こと

あまのこく

○ 折男子も 女人も 罪の深かん

と ぬぐく 諸仏の 悲れと なる

て ぬぐく 時の 事 代 悪 世 なる

と ぬぐく 諸佛の 行 ち ぬぐく 中

と ぬぐく なる 時 ち ぬぐく なる

河 海 危 如 乘 ち ぬぐく 諸 仏 不

と ぬぐく なる 諸 佛 人 と 我

た ぬぐく なる 夫 教 と ぬぐく 命

く て 河 海 危 如 と なる ぬぐく なる

佛 と ぬぐく なる ぬぐく なる

くくかんとてはれど我をよむ
ばて心懸かこしと懸いの書
海をのりて我をよむ海をよむ
せんよむと又よ飛ぶのよむ
一白一向よ海をよむ来たよけ
とあへんよ飛ぶと飛ぶと我

牙の飛のあまきまきとらうら
れよあまのまのこまの
んがしつとてあまの十人
から百人の百人の百人の
はまの百人の百人の百人
の百人の百人の百人

其のいなきらんらんらんらん
時の南光河津港なく時よ
いとくまらひんらんらんらん
佛やぐーあまんとすらんらんらん
鞍附の志仏とやぬり

あまらんらんらん

○信人獲得きくらふの身十八の
ときららんらんらんらん
うららんらん南光河津港乃
よぎごとくはらんらんらん
ふ南光と陣今とる一志の意に
後れ廻向のんあまらんらんらん

あり能くさうさういふもの
なりあるうさう

○ 一念は強弱とたのたてまゐる
行者の元上大刹の功徳と
あふふふとさうと和讃ふ

聖人のさう

濁悪世の有情の選擇本和讃
とまの不可解不可思議
の功徳の行者の身にみてるさうの
和讃のんいぬ濁悪世の元生と
いふ一切教本女人悪人の業を

あの中我本元生に廻向一由
一まのゆはよを来来現在三
世の業縁一付ははるる人
聚のくもまきむ豊のくあ
なんどよがてまるものおこの
んとまきむ如櫻みくく除障の本
教信まぐ一本教信する人のあ
接取不捨の如きゆへも正勝を
つるらつとらつ接取不捨を
つるらつとらつ念ふ海龍とたの
なる元生と光智のあつとあ
らつとらつとらつとらつとらつ

河津港に後生たきりてんか
面

おひのいしあさみんあさみん
の

ゆいりあさみんあさみんあさ
みん

あさみんあさみんあさみん
あさみん

あさみんあさみんあさみん
あさみん

南光とたのこ完まるとり
あさみん

のいふひまきしはてし道
理なるが

ゆいり南光河津港公の
あさみん

あさみんあさみんあさ
みん一切

まの卒をよまたきりてん
あさみん

あさみんあさみんあさ
みんあさ

かのたきりあさみんあ
さみんあさ

わづら南无河海龍公のさまの
らうたりのまのゆへに一切の聖教
とらまいたる南无河海龍公の六
字と信せしめんがまゝ受まう
らうらうたりのまのゆへに
まゝ信せしめんがまゝ受まう

聖人一流の佛勅化のまのまゝ
信名どめくまとせらまひその
ゆへにまのまのまのまのまの
一はふはははははははははは
鐵の乳カとてなのかいより程

生なまの活いきせせーめきもふまの位ゐを
一ひと念ねん發はつ起き入に心しん之の聚くとも釋しやく一
そのうへの称な名な念ねん佛ぶつ之の來ら我が
往わう生じやうとさごと免めんあひ一は法ほふ悉しやく報ほう
其そのの念ねん仏ぶつとさごとうらごとままぬら

あまうこく

○ 柞さく子の清きよ區くのうらに業ごう治ちと
て一いちままううごごととささの報ほう
悲ひ謝しゃ往わうとなるるんんとたののいいてて聖せい
人にんの清きよままののままのの人にんののああら
よよととんんとと獲とく得とくととああら
人にんののああらら一いちままののああらら

浄土の往生とねがふべし
人間は流布して
きるとかういふもの
くはまたる
てふ
おのころ

あまのついでに
南光河原
とよく
いふ
因

そのことごとくしるすよきなるものなり

よき功徳のありしよのまじりて

そのまじりたる所のうらやまの光上

甚深の功徳の廣大なるまこと

いふことなきまことなるものなり

そのまじりたる所のまじりたるものなり

まのうらやまのまじりたるものなり

まじりたる別はまじりたるものなり

まのうらやまのまじりたるものなり

そのまじりたる所のまじりたるものなり

そのまじりたる所のまじりたるものなり

そのまじりたる所のまじりたるものなり

義なり河原池なりからその物
なりその義なりそのゆゑなり
禮生なるいんばるの義なり
この釋のいんばるなり
いんばるなりその義なり
の義業類の義なり
義なり河原池なり
むぎの穂とむぎの穂と
あふく〜と河原池なり
たふく〜と河原池なり
まぐ〜と河原池なり
元上大利の徳と河原池なり

發經迴向ツクシツクシツクシと申すなりこの發經ツクシツクシ
迴向ツクシツクシの天喜大功德ツクシツクシと云ふまじらふ
まふあり申すまじらふツクシツクシ元始ツクシツクシ
劫ツクシツクシと云ふことなる也ツクシツクシ
業ツクシツクシはツクシツクシ一ツクシツクシたツクシツクシ
ゆツクシツクシにツクシツクシ業ツクシツクシのツクシツクシ
業ツクシツクシはツクシツクシ南ツクシツクシ光ツクシツクシのツクシツクシ
のツクシツクシ業ツクシツクシはツクシツクシ業ツクシツクシ
業ツクシツクシはツクシツクシ業ツクシツクシ
業ツクシツクシはツクシツクシ業ツクシツクシ

親とるよれふよをけくせいの
とけ世の始中後まそりーの
とくねるーはなごのうたは
百歳の人かふんたふん
おれがとーはふんかふん

ふきうくたまる百年の形
体

たのしみや我がふれんや
まふまふふんふん
ふんふんふんふん
ふんふんふんふん
ふんふんふんふん
ふんふんふんふん
ふんふんふんふん
ふんふんふんふん

てふ^ヒ事^キの^ハ母^ノ心^ハい^ハら^ハぬ^ハま^ハに^ハ如^クら^ハ

か^ハら^ハら^ハま^ハる^ハこ^ハた^ハら^ハま^ハら^ハに^ハら

ひ^ハの^ハの^ハき^ハき^ハう^ハく^ハた^ハえ^ハぬ^ハま^ハは^ハ

如^クも^ハい^ハく^ハま^ハり^ハて^ハ桃^ノ葉^ノ

よ^ハそ^ハら^ハり^ハか^ハら^ハら^ハる^ハま^ハら^ハる^ハ

お^ハ親^ノ養^ノ属^ノあ^ハり^ハま^ハら^ハい^ハて^ハお^ハび^ハた^ハま^ハい^ハな^ハ

れ^ハあ^ハら^ハぬ^ハ更^ハふ^ハその^ハ甲^ノ池^ノあ^ハら^ハぬ

う^ハい^ハく^ハて^ハい^ハま^ハら^ハぬ^ハま^ハら^ハる^ハ

後^ノに^ハい^ハて^ハい^ハま^ハら^ハぬ^ハま^ハら^ハる^ハ

の^ハま^ハら^ハぬ^ハま^ハら^ハぬ^ハま^ハら^ハる^ハ

自^ノら^ハの^ハま^ハら^ハぬ^ハま^ハら^ハる^ハ

ま^ハら^ハぬ^ハま^ハら^ハる^ハ

問もんのどうどうねねんんのの老らう若じやく不ふ定ぢやうの
さうさういいののままままたたままはは人ひとののままをを中ちゆうく
後ご生しやうのの一いつ大だい事じととんんよよかかああてて河か
海かい飛とび仏ぶつととぬぬくくたたののままをを中ちゆうく
せせくく念ねん仏ぶつままままららんんののままをを中ちゆうく
何なになるなるししととくく

類るい例れい傷きやう

西方不可思議尊 法藏菩薩因位中

超發殊勝本弘誓 建立无上大悲願

思惟攝取經五劫 菩提妙果酬上願

滿足本誓歷十劫 壽命延長莫能量

慈悲深遠如虛空 智慧圓滿如巨海

清淨微妙无邊刹 廣大莊嚴等具足

種種功德悉成滿 超踰十方諸佛國

普放難思无尋光 能破无明大夜闇

智光明朗開慧眼 名聲靡不聞十方

如來功德唯佛知 集佛法藏施凡愚

彌陀佛日普照耀 已能雖破无明闇

貪愛瞋嫌之雲霧 常覆清淨信心天

譬猶如日月星宿 雖覆煙霞霧雲等

其雲霧下明无闇 信知超日月光益

必至无上淨信曉 三有生死之雲晴

清淨无尋光耀朗 一如法海真身顯

發信稱名光攝護 亦獲現生无量德

无边難思光不斷 更无隔時處諸緣

諸佛護念真莫疑 十方同稱讚悅可

感染逆惡齊皆生 謗法闡提廻皆往

當來之世經道滅 特留此經住百歲

如何疑惑斯大願 唯信釋迦如實言

印度西天之論家 中夏日域之高僧

開大聖世雄正意 如來本誓明應機

釋迦如來楞伽山 為衆告命南天竺

龍樹菩薩興出世 悉能摧破有无見

宣說大乘无上法 證歡喜地生安樂

造十住毘婆娑論 難行嶮路特悲憐

易往大道廣開示 應以恭敬心執持

稱名號疾得不退 信心清淨即見佛

天親菩薩作論說 依修多羅顯真實

光闡橫超本弘誓 演暢不可思議願

由本願力廻向故 爲度具縛彰一心

歸入功德大寶海 必獲入大會衆數

得至蓮華藏世界 卽證寂滅平等身

遊煩惱林現神通 入生死園示應化

曇鸞大師梁蕭王 常向鸞方菩薩禮

三藏流支授淨教 焚燒仙經歸樂邦

天親菩薩論註解 如來本願顯稱名

往還廻向由本誓 煩惱成就凡夫人

信心開發即獲忍 證知生死即涅槃

必到无量光明土 諸有衆生皆普化

道綽決聖道難證 唯明淨土可通入

萬善自力貶勤修 圓滿德號勸專稱

三不三信誨慇懃 像末法滅同悲引

一生造惡遇弘誓 至安養界證妙果

善導獨明佛正意 深籍本願興真宗

矜哀定散與逆惡 光明名號示因緣

入涅槃門值真心 必獲於信喜悟忍

得難思議往生人 卽證法性之常樂

源信廣開一代教 偏歸安養勸一切

依諸經論撰教行 誠是爲濁世目足

決判得失於專雜 廻入念佛眞實門

唯定淺深於執心 報化二土正辨立

源空曉了諸聖典 憐愍善惡凡夫人

真宗教證興片州

選擇本願施濁世

還來生死流轉家

決以疑情爲所止

速入寂靜無爲樂

必以信心爲能入

論說師釋共同心

極濟無邊極濁惡

道俗時衆皆悉共

唯可信斯高僧說

○三誓偈

我建超世願

必至無上道

斯願不滿足

誓不成正覺

我於無量劫

不爲大施主

普濟諸貧苦

誓不成正覺

我至成佛道

名聲超十方

究意靡所聞

誓不成正覺

離欲深正念

淨惠修梵行

志求无上道

為諸天人師

神力演大光

普照无際土

消除三垢冥

廣濟衆厄難

開彼智惠眼

滅此昏盲闇

閉塞諸惡道

通達善趣門

功祚成滿足

威曜朗十方

日月戢重暉

天光隱不現